

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「水」を起点とした地域ブランド振興事業
事業主体 (連絡先)	信濃おおまち みずのわプロジェクト 大町市大町3887番地
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,301,750円 (うち支援金: 1,206,000円)

事業内容

SDGs 未来都市計画による「水が生まれる信濃おおまち」サステナブルタウン構想の実現のため、SDGsの普及啓発や地域資源である「水」を起点とした地域ブランド振興やシビックプライドの醸成に取り組む。

①みずのわ月間 (9月13日～11月4日)

- 市街地の水路の特徴や水スポットを紹介する地図「みずの音マップ」(紙媒体)を作成。
- 上記みずの音マップを背景にしたGPSと連動する機能を持つデジタルマップ「みずの音ナビ」を作成。
- 普段は立ち入ることが出来ない水源地を見学する「100年の歴史を刻む水源地見学ツアー」を実施。

②水を活かした特産品PR

- 信濃おおまちオリジナルかき氷及びカクテルのポスター及びチラシを作成及び配布し、販売店舗のPR及び販売促進を実施。

③水資源のデジタルアーカイブ化

- 大町市の清冽豊富な水が生まれる環境や水資源の特徴等をまとめたパンフレット「水が生まれるまちのキセキ」を印刷・配布。
- 上記内容によりパネルを作成し、構成団体の施設にて大町市の水の魅力を発信するパネル展を実施。

事業効果

- 今年度のみずのわ月間は北アルプス国際芸術祭の会期に合わせて実施し、本事業で作成した広報物等の配布や掲示により、市民及び市外からの芸術祭来訪者に「水が生まれる信濃おおまち」のPRと市街地の回遊性を高めることに寄与することができた。
- 信濃おおまちオリジナルかき氷及びカクテルの広報活動は、提供店舗の増加には至らなかったが、特にかき氷において特産品として定着を図ることができた。

今後の取り組み

清冽豊富な水が生まれる自然環境と先人たちの知恵と工夫により長い年月をかけて築き上げられた暮らしや文化等について、市民に大町の水の価値を再認識いただくとともに来訪者に知ってもらうための多様で重層的な機会を創出し、水に焦点をあてた持続可能なまちづくりの実現と「水が生まれる信濃おおまち」としての地域ブランドの向上に向けた取組を推進する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【目標・ねらい】

- ①大町市の水の魅力のPRと市民への啓発
- ②特産品の開発によるブランド振興と事業参加事業者の拡大
- ③水の価値の再認識

※自己評価【 C 】

【理由】

地域ブランド調査では大町市の認知度は低下傾向にあり、本事業の成果をさらに充実・発展させていくことが必要である。